

2019 ジュニアニュースNo.1

第1号 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

発行日:平成31年2月22日(金)

発行所:東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

Tel:03(3281)7788

「2019ジュニアニュースNo.1」をお届けいたします。

指導者の皆様におかれましてはご確認よろしくお願い申し上げます。

今回の連絡事項は下記のとおりです。

1. (公財)日本体操協会「平成31年度事業計画」について
2. (公財)日本スポーツ協会からの通達について
3. 2019東西・全日本ジュニア大会要項について
4. 2019全日本ジュニア大会段違い平行棒について
5. 2020全日本ジュニア選手権1部大会 Q&Aについて
6. 連盟主催の研修会及び大会の演技写真撮影・使用について
7. 登録について(重要)

1. (公財)日本体操協会「平成31年度事業計画」について(次頁に添付)

(公財)日本体操協会「平成31年度事業計画」をご連絡申し上げます。

なお、同協会の事業計画の日程は、原則として開会式、会議、練習など競技以外の日程を除いて作成されています。また、この事業計画には、東西大会の情報が入っておりませんのでご注意ください。

当連盟の東日本ジュニア大会は7月23日から27日、西日本ジュニア大会は

7月22日から26日となります。いずれも初日に会場練習、リーダー会議等が開催される予定ですのでご注意ください。

併せて、この事業計画は随時更新されていますので、詳しくは下記(公財)日本体操協会公式ホームページを

ご確認ください https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/2019JGA_0214.pdf

2. (公財)日本スポーツ協会からの通達について (最終頁に添付)

(公財)日本体操協会より(公財)日本スポーツ協会からの「不適切な鉄剤の静脈内注射の防止について」の通達が各都道府県、連盟宛に届きましたのでお知らせ致します。

3. 2019東西・全日本ジュニア大会要項等について

2019年に開催されます東西・全日本ジュニア大会の要項(案)ができあがりましましたのでお知らせ致します。2018年大会からの変更は次の通りです。

【東西ジュニア大会】

要項(案)5. 競技方法(男子Aクラス)

①自由演技

「適用ルール:2017年制定・2018年中学校男子適用規則」に変更

「2019年より円馬大会の廃止」の文言の追加

【全日本ジュニア決勝大会】(男子)

要項(案)4. 適用規則及び競技方法(男子Aクラス)

①自由演技(2017年制定・2018年中学校男子適用規則)かっこ内文言を変更

【全日本ジュニア選手権大会】

要項(案)12. 帯同審判(4)

【女子】今年は2020年選手権1部大会の予選となっているため、女子Aクラス並びに選手権2部大会の成績を並べて上位24名が資格を得る事になる。

両クラスが公平に採点されるようにするため、特例として選手権2部の帯同審判員にはAクラスの審判もお願いする。

(2部帯同審判員の前日の宿泊とAクラスの日当は連盟が負担する)

要項(案)12. 帯同審判(5)

【男子】男子帯同審判員は審判本部により審判編成される。

帯同審判員が多い場合、D審判並びにアシスタントに配置される場合もある。

◆各大会要項の大きい変更部分は以上です。

4. 2019全日本ジュニア大会段違い平行棒について

女子段違い平行棒についてご連絡いたします。今年度の大会より、全日本選手権大会で使用されているセノー(株)AD0200を全日本ジュニア大会でも使用いたします。

5. 2020全日本ジュニア選手権1部大会大会Q&Aについて

既に前回のジュニアニュースにてご連絡済ですが、2020年の全日本ジュニア大会は選手権1部のみでの大会となります。それを受けて加盟クラブの方々よりいくつか質問を頂きましたのでご回答いたします。

Q1:【2019年大会について】

2020年の選考会となっているが、各チームの参加人数の上限は例年通りか?

A: 例年通り

Q2:【2020年大会について】

チーム補欠が個人出場権を保有している場合、チーム補欠と個人を兼ねることができるのか?

A: 出場権があるのであれば兼ねることはできる

Q3: Q2で兼ねることができた場合、直前でチーム選手と交代し個人になった場合、選手が出場権を保有していない場合は個人として参加できるのか?

A: 参加できない。

(保有していない場合はチーム内選手としてのみ参加できる。)

Q4: 進学や移籍等により、出場権を保有している選手が複数名いた場合、各チームからの参加人数の上限はなしで良いか?

A: 出場権を保有している選手は参加可能であるため、チームの人数は変わらないが、同じクラブからの個人参加者の上限はない。

2019東日本ジュニア体操競技選手権大会実施要項 (案)

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟
 主管 群馬県体操協会
 後援 (公財)日本体操協会
 協賛

1. 期 日
 2019年 7月23日(火)セッティング 本会場練習 リーダー会議
 24日(水)審判会議 開始式 男子Bクラス競技(1日目)女子C/Bクラス
 25日(木)男子Bクラス競技(2日目)女子C/Bクラス C/Bクラス表彰式
 26日(金)男女Aクラス競技(1日目)
 27日(土)男女Aクラス競技(2日目) Aクラス表彰式 閉会式
 ※女子C/Bクラスの参加人数によって日程が変更することがあります。

2. 大会会場 〒370-0846 高崎市下和田町四丁目1番18号
 高崎アリーナ TEL 027-329-5447

3. 練習会場 未定

4. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	2019年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に2019年度の登録を済ませた者	
Aクラス	①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名	Aクラス ①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名
Bクラス	①小学校1年～小学校6年まで ②1団体最大6名	Bクラス ①小学校3年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
		Cクラス ①小学校1年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
その他	①A・B・Cクラスに参加する者は、前年度迄に全日本ジュニア体操競技選手権大会(選手権の部)に出場した者を除く。 ②保護者または医師の承諾を得ること。	

5. 競技方法

※すべてに於いて「FIG版競技規則」に準ずる

区分	男子	女子
Aクラス	①自由演技 適用ルール: 2017年制定・2018年中学校男子適用規則 ②花丸ルール適用	Aクラス ①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則 (2017年版変更規則Iを適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
Bクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル3] ②あん馬は「あん馬1」を採用 ③花丸ルール適用	Bクラス ①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則 (2017年版変更規則I、一部変更して適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
		Cクラス ①ジュニア連盟女子Cクラス規定演技を 採用し、個人総合・種目別を決定する。 ジュニア連盟Cクラス採点規則を適用する。 ②ハナマル判断基準適用(*)

2019年より円馬大会は廃止されました。

(*)ハナマル判断基準/E得点賞
 ・ハナマル判断基準は別紙参照のこと。
 ・E得点賞:各E審判員が算出した上位3位までの得点を
 獲得した選手に与える。
 Bクラス跳馬は規定のため除く。

6. 器具基準 添付資料参照のこと。

7. 着地マットの使用について 添付資料参照のこと。

8. 2019全日本ジュニア体操競技選手権大会(決勝大会)の出場資格について

出場資格と競技内容		
区分	男子	女子
Aクラス	①東西上位各30名 ②中体連採用規則に準ずる自由演技6種目 *禁止技は高等学校適用規則に準ずる。 ③花丸ルール適用	Aクラス ①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
Bクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用	Bクラス ①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
		Cクラス ①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
その他	※全日本ジュニア体操競技選手権大会の出場資格を取得した選手の該当クラブは、主催者が指定した時刻までにエントリーを完了しなければならない。 辞退した場合は次点の選手が繰り上がる。	

9. 表彰について

・すべてのクラス/個人総合・種目別ともに1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
 ・(女子)E得点賞/E得点の上位1位～3位の得点を獲得した選手に賞状が与えられる。(A・Bクラス)

10. 参加料について

・A・B・Cクラス /1名につき ¥10,000

11. 申込締切について

未定

12. 申込先

未定

13. 抽選関係 2019年6月 日() 抽選結果は、後日インターネット上に掲載する。

14. その他

- ①参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- ②大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- ③参加申込書が不足した場合は各自コピーして補充すること。
- ④クラブ旗は各クラブとも1枚のみ掲揚できる。
- ⑤アリーナに入る監督、コーチは必ずクラブのユニフォームを着用すること。
- ⑥参加選手のゼッケンはリーダー会議の際に本部から手渡される。
- ⑦参加者数の増減により日程に多少の変更が生じる場合があるのでご了承ください。
- ⑧女子のゆかの伴奏音楽はMD(SPで録音したもの)もしくは音楽CD、USBをご用意ください。
 ※(使用する曲1曲のみ)

【個人情報保護について】

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。
 収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

【大会期間中の肖像権について】

大会期間中に撮影された写真は、一般社団法人全日本ジュニア体操クラブ連盟並びに開催地実行委員会が作成する報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがあります。

2019西日本ジュニア体操競技選手権大会実施要項 (案)

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟
 主管 福井県体操協会
 後援 (公財)日本体操協会
 協賛

1. 期 日
 2019年 7月22日(月)セッティング 本会場練習 リーダー会議
 23日(火)審判会議 開始式 男子Bクラス競技(1日目)女子C/Bクラス
 24日(水)男子Bクラス競技(2日目)女子C/Bクラス C/Bクラス表彰式
 25日(木)男女Aクラス競技(1日目)
 26日(金)男女Aクラス競技(2日目) Aクラス表彰式 閉会式
 ※女子C/Bクラスの参加人数によって日程が変更することがあります。

2. 大会会場 〒916-0041福井県鯖江市東鯖江3丁目6番10号
 鯖江市総合体育館 Tel. 0778-51-0669

3. 練習会場 未定

4. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年会費	2019年度の年会費を完納したクラブ	
登 録	当連盟に2019年度の登録を済ませた者	
Aクラス	①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名	Aクラス ①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名
Bクラス	①小学校1年～小学校6年まで ②1団体最大6名	Bクラス ①小学校3年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
		Cクラス ①小学校1年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
その他	①A・B・Cクラスに参加する者は、前年度迄に全日本ジュニア体操競技選手権大会(選手権の部)に出場した者を除く。 ②保護者または医師の承諾を得ること。	

5. 競技方法

※すべてに於いて「FIG版競技規則」に準ずる

区 分	男 子	女 子
Aクラス	①自由演技 適用ルール: 2017年制定・2018年中学校男子適用規則 ②花丸ルール適用	Aクラス ①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則 (2017年版変更規則Iを適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
Bクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル3] ②あん馬は「あん馬1」を採用 ③花丸ルール適用	Bクラス ①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則 (2017年版変更規則I、一部変更して適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
		Cクラス ①ジュニア連盟女子Cクラス規定演技を 採用し、個人総合・種目別を決定する。 ジュニア連盟Cクラス採点規則を適用する。 ②ハナマル判断基準適用(*)

2019年より円馬大会は廃止されました。

(*)ハナマル判断基準/E得点賞
 ・ハナマル判断基準は別紙参照のこと。
 ・E得点賞:各E審判員が算出した上位3位までの得点を
 獲得した選手に与える。
 Bクラス跳馬は規定のため除く。

6. 器具基準 添付資料参照のこと。
 7. 着地マットの使用について 添付資料参照のこと。

8. 2019全日本ジュニア体操競技選手権大会(決勝大会)の出場資格について

出場資格と競技内容			
区 分	男 子		女 子
Aクラス	①東西上位各30名 ②中体連採用規則に準ずる自由演技6種目 *禁止技は高等学校適用規則に準ずる。 ③花丸ルール適用	Aクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
Bクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用	Bクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
		Cクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
その他	※全日本ジュニア体操競技選手権大会の出場資格を取得した選手の該当クラブは、主催者が指定した時刻までにエントリーを完了しなければならない。 辞退した場合は次点の選手が繰り上がる。		

9. 表彰について
 ・すべてのクラス/個人総合・種目別ともに1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
 ・(女子)E得点賞/E得点の上位1位～3位の得点を獲得した選手に賞状が与えられる。(A・Bクラス)

10. 参加料について
 ・A・B・Cクラス /1名につき ¥10,000

11. 申込締切について

未 定

12. 申込先

未 定

13. 抽選関係 2019年6月 日()抽選結果は、後日インターネット上に掲載する。

14. その他

- ①参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
 ②大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
 ③参加申込書が不足した場合は各自コピーして補充すること。
 ④クラブ旗は各クラブとも1枚のみ掲揚できる。
 ⑤アリーナに入る監督、コーチは必ずクラブのユニフォームを着用すること。
 ⑥参加選手のゼッケンはリーダー会議の際に本部から手渡される。
 ⑦参加者数の増減により日程に多少の変更が生じる場合があるのをご了承ください。
 ⑧女子のゆかの伴奏音楽はMD(SPで録音したもの)もしくは音楽CD、USBをご用意ください。
 ※(使用する曲1曲のみ)

[個人情報保護について]

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。
 収集した個人情報は、本大会の運営に必要となる参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

[大会期間中の肖像権について]

大会期間中に撮影された写真は、一般社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟並びに関催地実行委員会が作成する報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがあります。

2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 ～東西決勝大会要項～(案)

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 スポーツ庁 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会
 朝日新聞社
 協賛 ㈱ササキスポーツ セノ一㈱ コカ・コーラ ボトラーズジャパン㈱
 リコージャパン㈱

1. 期 日 2019年8月12日(月) 決勝大会リーダー会議及び審判会議 決勝大会開会式
 女子C/Bクラス、男子Bクラス決勝大会
 13日(火) 男女Aクラス決勝大会 決勝大会表彰式
2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年 会 費	2019年度の年会費を完納したクラブ	
登 録	当連盟に2019年度の登録を済ませた者	
Aクラス決勝	2019東西ジュニア出場者の上位各30名	2019東西ジュニア出場者の上位各30名
Bクラス決勝	2019東西ジュニア出場者の上位各30名	2019東西ジュニア出場者の上位各15名
Cクラス決勝		2019東西ジュニア出場者の上位各15名

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」に準ずる

区 分	男 子	女 子
Aクラス決勝	①自由演技(2017年制定・2018年中学校男子適用規則)を適用し、個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用 ③禁止技は高等学校適用規則に準ずる。	①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則(2017年版変更規則I)を適用)個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)
Bクラス決勝	①男子ジュニア規定演技[レベル3]を採用し、個人総合・種目別を決定する。 ②あん馬は「あん馬2」を採用 ③花丸ルール適用	①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則(2017年版変更規則I、一部変更して適用)個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)
Cクラス決勝		①ジュニア連盟女子Cクラス規定演技を採用し、個人総合・種目別を決定する。ジュニア連盟Cクラス採点規則を適用する。 ②ハナマル判断基準適用(*)

(*)ハナマル判断基準参照

◆A/BクラスE得点8.5以上の演技に対してハナマルを与える。

Bクラス跳馬は最終得点が9.3以上とする。

(2跳躍のうちどちらか1跳躍でも良い)

◆Cクラスは東西と同様のハナマル判断基準を適用する。

5. 器具基準 別添資料参照のこと。

6. 着地マットの使用について 別添資料参照のこと。

7. 表 彰 個人総合種目別とも 1～3位/メダル・賞状及び副賞
 4～6位/賞状及び副賞

(※女子E得点賞は東西大会のみ)

8. 申込締切 東西ジュニア選手権大会終了後、出場資格者名簿が大会会場にて発表され、参加団体に参加申込書が配布される。
 参加団体の責任者は申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて同会場にて申し込むこと。以後は受け付けない。

9. 抽 選 2019年7月2日(火)18:30より行い演技順を決定する。

選手権大会の試技順一覧は抽選結果を入力、確認後参加クラブに郵送される。

◆演技順について

【男子A/Bクラス】東西ジュニア予選大会の1位～15位はII班、16位～30位はI班とする。

【女子Aクラス】東西ジュニア予選大会の1位～15位はII班、16位～30位はI班とする。

【女子C/Bクラス】東西ジュニア予選大会(各15名)合計30名、各々のクラスでI班とする。

※演技順は抽選される。抽選結果は、東西ジュニア選手権大会終了後、各決勝大会エントリーの際に参加申込書とともに配布する。

10. 参加料 1名につき 10,000円

11. そ の 他 (1)参加料はその理由の如何を問わず返金しない。

(2)大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。

(3)参加選手のゼッケンはIDカードと共に受付にて配布される。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

「大会写真の取り扱いについて」

大会期間中に撮影された写真は、当連盟ホームページ、大会ポスター、プログラム及び大会報告書、広報誌等に掲載されることがあります。ご了承ください。

JOCジュニアオリンピックカップ 2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 ～選手権大会要項～(案)

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 スポーツ庁 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会
 朝日新聞社
 協賛 ㈱ササキスポーツ セノー㈱ コカ・コーラ ボトラーズジャパン㈱
 リコージャパン㈱

1. 期 日 2019年8月13日(火) 2部リーダー会議及び審判会議 開始式
 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 14日(水) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 15日(木) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 2部表彰式 1部リーダー会議及び審判会議
 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 16日(金) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 17日(土) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 1部表彰式 閉会式

2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年会費	2019年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に2019年度の登録を済ませた者	
選手権1部	①中学2年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成18年4月1日までの間に生まれた者) ②前年度上位4チーム、チーム内選手を含む個人シード 24位は最終日最終班、前年度上位5位～8位チームは 最終日前日の最終班、但し参加人数によって最終日朝 一班とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム4名/ベスト3+個2) ④補欠は最大2名 ※個人はチーム補欠と兼ねても良い。 ※正選手6名(チーム4名/個人2名)、補欠2名 をエントリーした場合、補欠はあくまでも補欠 であり、チーム或いは個人との入れ替えのみ できる。 ※チーム、並びに個人選手の最終決定は、前日 公式練習終了後10分以内に書面にて 事務局に提出すること。変更がない場合 は提出不要、したがって時間内に提出が ない場合の変更は認めない。 ⑤個人出場の際は1クラブにつき最大2名	①小学6年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成20年4月1日までの間に生まれた者) ※小学6年生の出場選手については、全日本選手権大会の団体及び個人総合 出場年齢下限が平成19年12月31日生までとなっているため、早生まれの選手 は対象外となる。 したがって成績が通過圏内であっても予選通過にはならず、全日本ジュニア大 会の成績のみとなる。 ②前年度上位4チームは最終日の最終班、また、前年度 上位5～8位チームは最終日朝I班とする。個人シ ード選手12名は、上位6名は最終班、残りの選手につ いては朝I班とする。シード選手の数が12名に満たない 時は、フリー抽選とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム6名/ベスト5) ④チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可、ただし、 個人シード選手(優秀選手)はこの限りではない。) ⑤本連盟推薦の個人シード選手12名(個人出場可) ⑥個人出場の際は1クラブにつき最大4名 ⑦全日本選手権予選も兼ねているため、CR 2.0 (跳馬を除く3種目)獲得できる者 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。
選手権2部	①中学1年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成19年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場4名(チーム4/ベスト3) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大2名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の 参加が認められる。	①中学3年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成17年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場5名(チーム5/ベスト4) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大3名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大6名の 参加が認められる。
参加枠	①医師または保護者の承諾を得ること。 ②団体及び個人選手の資格はその範囲とする。 ③本年度東西ジュニア選手権に出場した者は出場できない。	
その他	①医師または保護者の承諾を得ること。 ②団体及び個人選手の資格はその範囲とする。 ③本年度東西ジュニア選手権に出場した者は出場できない。	

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」を適用する

区 分	男 子	女 子
選手権1部	2017年版採点規則を適用する。(最新号を参照) (団体総合兼個人総合及び種目別)	2017年版採点規則を適用する。(最新号を参照) (団体総合兼個人総合及び種目別)
選手権2部	高体連採用の採点規則(一部変更ルール)を適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別) (10技→8技)	2017年版採点規則変更規則Iを適用する。 (団体総合兼個人総合及び種目別)

5. 選手権2部前日練習について

参加人数の増加に伴い、男女選手権2部の前日練習をなくすこととする。

6. 全日本選手権への出場資格について (資料後日送付)
 (公財)日本体操協会からの通達により男女とも次の枠内で全日本選手権への資格が与えられる。
 7. 器具基準 別添資料参照のこと。
 8. 表 彰 団体総合/個人総合/種目別各々1～3位/メダル・賞状及び副賞、4～6位/賞状及び副賞
 9. 申込締切 申込書(統括表と個人申込書の両方)に必要な事項を記入し、参加料を添えて6月20日(木)必着で
 現金書留にて送付のこと。 ※締切日以後は受付けない。

(宛先)〒103-0027 東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

(一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

10. 抽 選

2019年7月2日(火)18:30より抽選会を行い演技順を決定する。

* 抽選会に参加を希望するクラブは申込締切日までに事務局へ申し出ること。

【※抽選結果は7月5日(金)までに発送予定、それ以前の電話等による問い合わせは不可とする】

11. 参加料

区 分	男 子	女 子
団体出場	1部 1団体 40,000円	1部 1団体 60,000円
	2部 1団体 40,000円	2部 1団体 50,000円
個人出場	1名あたり10,000円	

12. 帯同審判

- (1)選手権(1部・2部)団体出場クラブは1名の帯同審判を派遣すること。ただし、女子競技は女性に限る。
 ※帯同審判員は必ず(公財)日本体操協会Web登録を完了している者に限る。
 (2)帯同審判を派遣できないクラブは審判委託費(1部・2部/70,000円)を納入のこと。
 (3)【女子】帯同審判員が多い場合、D2審判員は選出し、それ以外はアシスタントを含むフリー抽選とする。
 ※ (4)【女子】今年は2020年選手権1部大会の予選となっているため、女子Aクラス並びに選手権
 2部大会の成績を並べて上位24名が資格を得る事となる。両クラスが公平に採点をされる
 ようにするため、特例として選手権2部の帯同審判員にはAクラスの審判もお願います。
 (2部帯同審判員の前日の宿泊とAクラス日当は連盟で負担する)
 ※ (5)【男子】男子帯同審判員は審判本部により審判編成される。
 帯同審判員が多い場合は、D審判並びにアシスタントに配置される場合がある。

13. そ の 他

- (1)参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
 (2)チームには最大2名までのコーチをつけることができる。(男性・女性のいずれでも可)
 (3)大会期間中に発生した傷害についてはその責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
 (4)宿泊については宿泊要項にて希望者の申し込み込むこと。(先着順)
 (5)申込書が不足の場合は各自コピーをして使用すること。
 (6)参加選手のゼッケンは事前に送付される。
 (7)参加者数の増減により日程に変更が生じる場合がある。
 (8)女子ゆかの伴奏音楽は音楽CDのみとする。(使用する1曲のみ)

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ
 連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

「大会写真の取り扱いについて」

大会期間中に撮影された写真は、当連盟ホームページ、大会ポスター、プログラム及び大会報告書、広報誌等に掲載されるこ
 とがあります。

～2019 男子器械種目寸度表～

□選手権1部(中学2年～高校3年) □選手権2部(中学1年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪 鉄棒	2m80cm	20cm
跳馬	1m35cm	20cm
平行棒	1m90cm 2m00cm	12cm 20cm

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m25cm	20cm
平行棒	1m85cm 1m95cm	12cm 20cm
鉄棒	2m75cm	20cm

□Bクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm <small>※身長の低い選手に対し、飛びつき台を別途用意する。</small>	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m20cm	20cm
平行棒	1m75cm 1m87cm	12cm 20cm
	<small>*一般認定器具で高さ187cm(±2cm)、両棒間の幅調節ができるものがあれば良い。(設置の際は業者に確認)</small>	
鉄棒	2m65cm	20cm

【男子Bクラス(2016年～)】

※跳馬 高さ 1m10cm⇒1m20cmに変更
 平行棒 高さ 1m65cm⇒1m75cmに変更
 1m75cm⇒1m87cm(±2cm)に変更

【男子Aクラス・選手権2部】

※男子Aクラス、選手権2部における、つり輪の着地マットの使用は可能

～2019 女子器械種目寸度表～

□選手権1部(小学6年～高校3年) □選手権2部(中学3年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m25cm	20cm
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	20cm
	低棒 1m70cm	
高棒 2m50cm	12cm	
バー間隔 最大 1m80cm		
平均台	1m20cm	12cm
	1m25cm	20cm

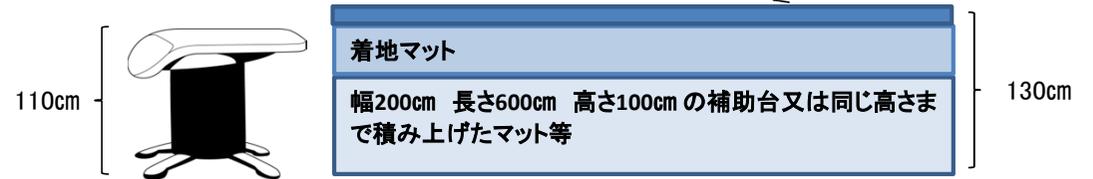
(1)ゆかを除く3種目では最大10cm程度の着地マットを使用しなければならない。(本会場3枚、練習会場3枚)

□Bクラス(小学3年～小学6年)(一部規定演技を含む自由演技)

□Cクラス(小学1年～小学6年)※Cクラスは跳馬を使用しない。

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
Cクラス跳馬	メジャーは着地マットの一番先端を「0cm」とする	
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	20cm
	低棒 1m70cm	
高棒 2m50cm	12cm	
バー間隔 最大 1m80cm		
平均台	1m20cm	12cm
	1m25cm	20cm
※Bクラス跳馬について		
跳馬	床面からの高さ 1m10cm	着地マットについて 着地面より1m30cm

←10cmのピタリマット



設置案1 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmの補助台もしくはそれに準じた台を設置し、その上に通常の跳馬用着地マット(200×600×20)を設置しその上にピタリマット(200×600×10)を設置する。

設置案2 : 着地マット(200×600×20)を2×5枚敷き100cmの高さの着地スペースを設営、その上に通常の着地マット、ピタリマット(200×600×10)を設置する。

設置案3 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmのポディウムに準ずる台(セノーもしくは会場設営業者※各開催地手配)を設置し、その上に通常の跳馬用着地マットを設置し、その上にピタリマット(200×600×10)を設置する。

事 務 連 絡
平成 31 年 1 月 24 日

本会加盟（準加盟）団体
事務局長 殿

公益財団法人日本スポーツ協会
事務局長 河 内 由 博

不適切な鉄剤の静脈内注射の防止について（通知）

平素より本会スポーツ推進事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、スポーツ庁から別添文書のとおり周知依頼がありましたのでご通知申し上げます。

今般、一部の競技において、本来であれば鉄欠乏性貧血が重症かつ緊急の場合など、経口による鉄剤の投与が困難又は不適當である場合に限って使用されるべき鉄剤の静脈内注射について、不適切な利用の実態があることが確認されました。鉄剤の静脈内注射の不適切な利用が、健康を害する危険性を理解し、安易に鉄剤の静脈内注射の使用を医師に求めることなく、医師の診断に従い、適切に治療を受ける必要があることを、指導者等に周知啓発することが求められています。

貴団体におかれましては、通知の内容について十分ご留意の上、適切にご対応いただくとともに、貴団体加盟団体及び関係諸機関に対し、本件についてご周知いただきますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

記

○添付資料

- ・（写）平成 31 年 1 月 11 日付 30 ス競ス第 18 号文書
「不適切な鉄剤の静脈内注射の防止について（依頼）」*スポーツ庁発信文書

《本件に関する問い合わせ先》
総務部企画調整課
担当：金谷
TEL：03-3481-2269 FAX：03-3481-2284
e-mail：kikaku@japan-sports.or.jp